

発見!九州の

魅力と

観光の未来

参加無料

定員100名

九州は、5つの世界遺産、6つの国立公園を擁し、多くの著名な温泉地を有するなど、世界レベルの観光資源に恵まれた地です。2026年現在、観光産業は、自動車産業に次ぐ輸出産業であり、2030年代には、日本最大の輸出産業になるという予測もあります。九州は、ソウルや台北、上海、香港といったアジア大都市へのアクセスに優れ、豪華列車「ななつ星in九州」の成功をはじめ観光立国のモデル地域として高いポテンシャルを秘めています。九州の魅力と観光の未来について、各界を代表する方々に語り合ってもらいます。

会期

2026年11月2日(月) 14:00-16:30

会場

九州大学伊都キャンパス

日本ジョナサン・KS・チョイ文化館 中山ホール

参加申込はこちら



<https://forms.cloud.microsoft/r/CNgpbMhs3u>

締切 10月27日(火)17:00

14:00-14:10 開会の挨拶 岡田 亜弥 (九州大学理事・副学長)

14:10-14:40 講演1 古宮 洋二 (JR九州社長)

14:40-15:10 講演2 則久 雅司 (環境省自然環境局長)

15:30-16:20 クロストーク 基調講演者2名+ソン・ヨンフン (ソウル大学校教授)
+ゴ・ユエ (九州大学文学部3年生)
モデレータ: 田中 俊徳

16:20-16:30 閉会の挨拶 原田 明 (九州大学アジア・オセアニア研究教育機構 副機構長)



古宮 洋二氏

(九州旅客鉄道株式会社(JR九州) 代表取締役社長執行役員)
九州の素晴らしい観光資源を繋ぐ世界一の豪華列車「ななつ星in九州」の誕生秘話、これからの観光戦略、アジア戦略等について語ってもらう。九州大学工学部卒業。



則久 雅司氏

(環境省自然環境局長/前環境省九州地方環境事務所長)
鹿児島県自然保護課長や環境省九州地方環境事務所長等を歴任した立場から、九州の自然と文化、特に国立公園や世界遺産の魅力について語ってもらう。環境省は、国立公園や世界遺産のみならず、温泉法やエコツーリズムも所管。



ソン・ヨンフン

(ソウル大学校教授/九州大学アジア・オセアニア研究教育機構 訪問教授)
九州の魅力に惹かれ、九大でサバティカル滞在中。前はケンブリッジ大学に滞在。世界と比較して九州の魅力や未来の可能性について語ってもらう。専門は農村計画、農村観光。



ゴ・ユエ

(九州大学文学部3年生)
マレーシアからの留学生。母語である中国語やマレー語の他に、英語、日本語を話す。持続可能な観光や国際交流に関心を持つ。



田中 俊徳

(九州大学アジア・オセアニア研究教育機構 准教授)
持続可能な観光の専門家。NHKクロズアップ現代「持続可能な観光」出演。「月刊経団連」8月号では、「観光立国の未来」特集で観光庁長官らと対談。著者に「オーバーツーリズム解決論」、「エコツーリズムの文化学」など。